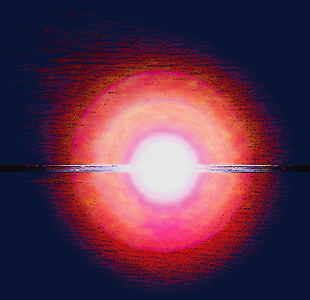


OST VOL

2

RESSENTIMEN

Kotaro “Vabo” Irishio:

- Vocal
- Chorus
- Guitar
- Recording
- Mixing
- Mastering
- Music Programming

Naoya Esa:

- Vocal
- Chorus
- Design
- Art Direction

Produced by RESSENTIMEN

http://www.ressentimen.com/

るさんちめん

「ルサンチメンのフツウキライ」OST Vol.2

“人生は 色”

01 フツウキライのオープニング 2015

みなさん、はじめまして、おひさしぶり、ルサンチメンの音楽担当バボ入潮です。

此の度は”ルサンチメンのフツウキライ OST Vol.2 - 人生は鈍色 -”をダウンロードいただき誠にありがとうございます。此の解説 text とは作曲者であるバボ入潮が直々に曲の解説をすると云う芸人がボケの解説をするみたいなことをしちゃう特典でございます笑

…てか此処まで前回の OST のほぼコピペや！
手抜きすな馬鹿野郎！ちゃんと書け！アホ！ハゲかけの相方！

さてさてそんなどうでもいい前口上はさて置き解説にサクッと入りますよ。
てか何気にサラッと Vol.2 出しちゃってルサンチメン調子に乗ってんね！
此の曲のテーマは“Remix”です。今まで僕は Podcast のタイトルを曲にしたり前作の OST では昔にしたコントを曲にしたりと、自分が産み出してきたものの魂を何回でも見せつけたい性分なのです。昔まだ地下アイドル時代の AKB48 が AC の宣伝で”三つの R で地球を救え～”って云っていましたがまさにそれです！Reduce,Reuse,Recycle です！（Remix 入ってへんやんってのが正しいツッコミ。）

で今回もう一回使いたいなぁってなったのは” タイトルコールの後に入っていたよくわからん江左の掛け声”です。”イェア！”に始まり最終的には”ジリリリリリリ！”ともはや掛け声でもなんでもなくなってきている”コレ”をどうにか生き返らせたかったのです。
音楽的にはそんな掛け声が気持ち良く入るようにマーチみたいな感じにしました。

此の音楽かけながら運動会の入場行進とかしてみたいね。まぁそんな小学校には行きたくないけど。ちなみに此の曲はニューヨークはチャイナタウンの”2畳ぐらいしかない独房みたいな安ホテル”で創りました。壁が薄すぎて寝返りが壁ドンになっちゃうようなストレスフルな環境で創ったとは思えないハッピーなサウンド！えらかったね、バボちゃん！

（此の曲は現在のフツウキライで使われております。此の機会に是非最新エピソードもお楽しみください。）

で、でた！
今回もムカつく顔でそこにおります、バボちゃん！
前作から引き続き、気づけばスミにいる
小憎たらしいマスコット的存在です。

んでなんでコイツ出っ歯やねん。
それが腹立つねん。

今回のアルバムのリードトラックと云っても過言ではない曲、”碧染めのねおん -Teal Dyeing Neon-”です。自分で創っておいてなんですがオシャレな曲ですよね笑
洒落オツでもキャッチーさをきちんと残しているポップでデストロイな曲だと思いますw
個人的には大学の軽音部とかに”コピー”して欲しいです。意外とややこしいコードを使っていたり、リズムもちょいちょい跳ねていたりするんで、メンバー同士でお互いを褒め合いながら楽しく演奏できるのではないでしょうか？笑

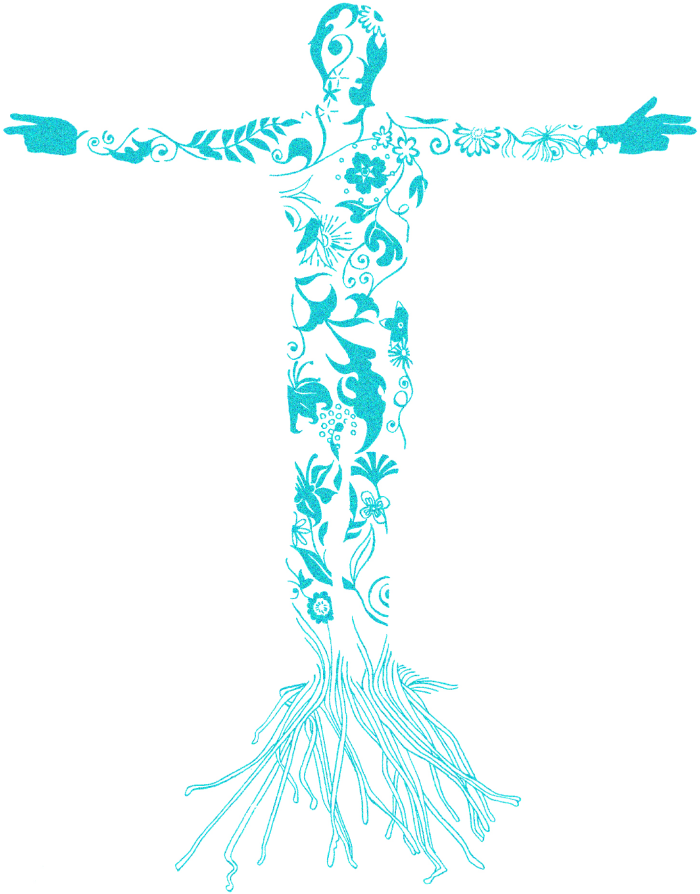
さて、僕は今まで”ルサンチメン”名義で唄もの曲を色々と創ってきました。”君とずっと一緒”にはじまり”矛盾はいいね！”まで気づけば八曲程になります。自分名義で創る時や、バンド時代に創ってきた曲、頼まれて創った曲、そう云う曲たちと根本的に”ルサンチメン”名義で創る時とには違うことがあって、
それは”ルサンチメンはコントユニット”と云うことです。

そう”ルサンチメンはコントユニット”と云うことです。（大事なことは二回云う。）

つまりボケなきゃいけないのです。笑えなきゃいけないのです。でも我々は不真面目は嫌いです、僕らは大真面目にふざけたいのです。”かいけつゾロリ”の精神性ですよ。”イシシとノシシ”を従えたいのですよ。大好きな音楽に対して大真面目にふざける。そう云うことをルサンチメンの楽曲ではしてきたつもりです。

それでは今回の”碧染めのねおん -Teal Dyeing Neon-”、いったいどこら辺がボケなのでしょうか？
ダウンタウンの松ちゃんもよく云っていますがお笑いの基本は”緊張と緩和”です。実は音楽にもそれが云えて曲中でのダイナミクスはどんなジャンルにおいても非常に重要になっています。
”静と動”とでも云うのでしょうか？Pixes の曲なんてわかりやすいですね。
今回はその”緊張”の方に重点的に焦点を置いて創りました。ボケにしても音楽にしても受け手側は”緊張”が”緩和”に変わる瞬間を求めているのです（もしくはその逆）。

話は変わりますが音楽のジャンルのようにボケにも色んな種類があります。
”ダジャレ”、”リアクション”、”天丼”、”ギャグ”、”あるある”、”かぶせ”、
”すかし”、”すかし”、”すかし”、などなどです。
果たして今回の此の曲がどのジャンルのボケを意識して創られたかは謎のままですが、どうかみなさん最後まで楽しんでお聴きください。



02 碧染めのねおん -Teal Dyeing Neon-

Music by Ressentimen

透明な秋の空
不確かな風と並木道
いつか見たあの光景を今貴女と二人で見る

声に出すと途端に気恥ずかしい
胸の奥に仕舞い込んだ秘密
太陽と月が溶け合う時間
まだ少しだけ早い

掌を重ねたら
少しずつ早くなる鼓動
舞い落ちる紅葉のような
貴女の横顔を眺める

世界からまるで切り離されて
流れる景色もボヤけ出していく
夜が僕たちを迎えに来たら
さぁ行こうよ

碧染めのねおんが
照らし出した僕らの居場所で
愛すると云うことの意味を
知ろうとしたけれど
まだまだわからないままで

不透明な水のように
混じり気を帯びた心では
口元に潜ませた
秘め事はまだ渡せない

感覚の向こう側（果てはないから）
知ったフリをして（逃げないで）
なんだって僕らは（思い通りに）
叶えられる

仮初めの時間で
繋ぎ合わせた二人の未来は
何処まで続くのだろう？
神様さえも知らない結末

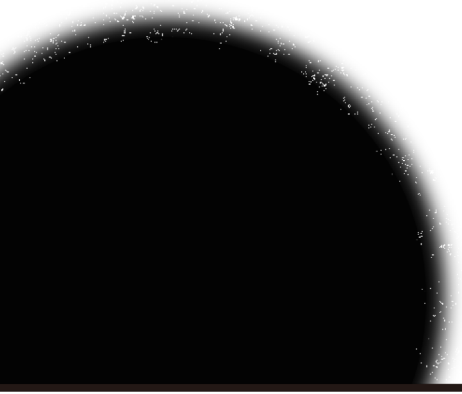
碧染めのねおんが
照らし出した貴女の横顔
僕なりの愛の意味を言の葉抜きで伝えるよ
秘密が二人のものに変わる

03 日の出を見に行こう

此の曲は前作のOSTが完成してデータのアップロードやオマケ動画の編集とかをこちょこちょしていた時期に書いた曲ですね。サントラが完成した喜びからか珍しく全体的にフツウに明るいです笑

オーケストラ的な感じを目指して創った曲でタイトルからも想像できる通り"始まり"をイメージしています。前作の"始まりの朝"の続編とでも云いましょうか？二年目のBGMはしばらくそんな感じで"前作越え"をコンセプトにして創っていた記憶があります。途中からめんどくさくなってやめちゃいましたけど。The 飽き性。

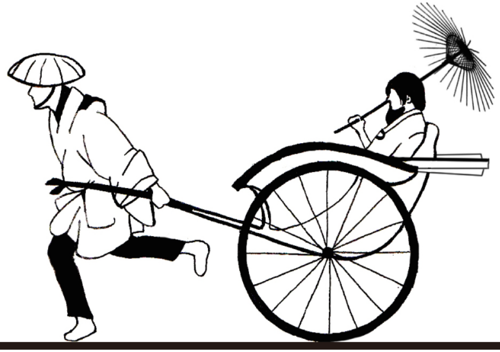
イントロのチェロのフレーズがカッコいいですね。クラシックの理論的に云うところの"Motif"ってヤツですよ。あらやだ、解説っぽい！その"Motif"を色んな楽器で色んなところで鳴らしているんですね。だから此の"Motif"が印象づくわけです。あらやだ、考えて創ってるみたい！



ところでチェロと云えば皆さんご存知、僕の大好きなハリウッド女優"クロエ・グレース・モレッツ"が2014年公開の映画"If I Stay"でチェロ奏者を目指す少女役をしていたのはもはや云うまでもありませんが、実は此の映画を僕はニューヨークに引越したての頃に、まさしく前回のサウンドトラックのお話を頂いた頃に、"一人"で観に行ったんですよ。此の"If I Stay"は邦題が"イフ・アイ・ステイ－愛が還る場所－"って云うものすごく洒落臭いタイトルからもお分かり頂ける通り"ばちくそにロマンティックな"映画なんです。それをね、ニューヨークの街で、アジア人の細目の男が、"一人"で、"一人ぼっち"で観たわけです。

別にトキメキが欲しかったわけでも、女子ウケを狙ったわけでもありません、ただただ"クロエ"が好きだからです、ちゃんと云うと"クロエ・グレース・モレッツ"が好きだからです。好きなものの為なら、周りがおしゃれカップルばかりの映画館へも突撃できるし、アメリカの有名映画批評サイト"Rotten Tomato"で"36点"と云う素晴らしい点数（100点満点）がつけられたラブロマンス映画も最後まで観れるのです。

そう、The Beatlesも唄っていたように僕らに必要のは愛だけなのです。
さぁ、みんなで一緒に日の出を見に行こう！



"俺はもともと海軍に所属していたけど怪我の影響で泣く泣く辞めて、その後UCLAを卒業して国連に入って世界的に活動していたけど古傷が痛むから西海岸の実家で療養していたら母親に音楽の才能に気づかされて、それで大学で音楽を専攻することに決めたんだ。"

とか云うものすごく胡散臭い話を得意げにしてきた中国系アメリカ人の元ルームメイト（大学が始まって2週間くらいで"東海岸の空気は俺には合わなかった…"とか云って大学辞めてった奴）が引っ越す時にアコースティックギターを安くで売ってくれたんです。折角新しい楽器を手に入れたし使わねば！と思ってアコギを使って全然アコースティックじゃない曲を創ろう！ってなった結果が此の曲です。自分でも最早どうやって弾いたかも忘れてしまったくらい奇天烈な音がなっていますね。ハーモニクスやらなんやらを使ったんですけどどうやったらこんな"スペーシー"な音が出るのかわかりません。多分録音に使ったアコギが"フレットと弦が近すぎて常に音がビビりまくるとんでもない粗悪品"やったから成せた技やと思いますw なんちゅうもんを売ってくれたんや。

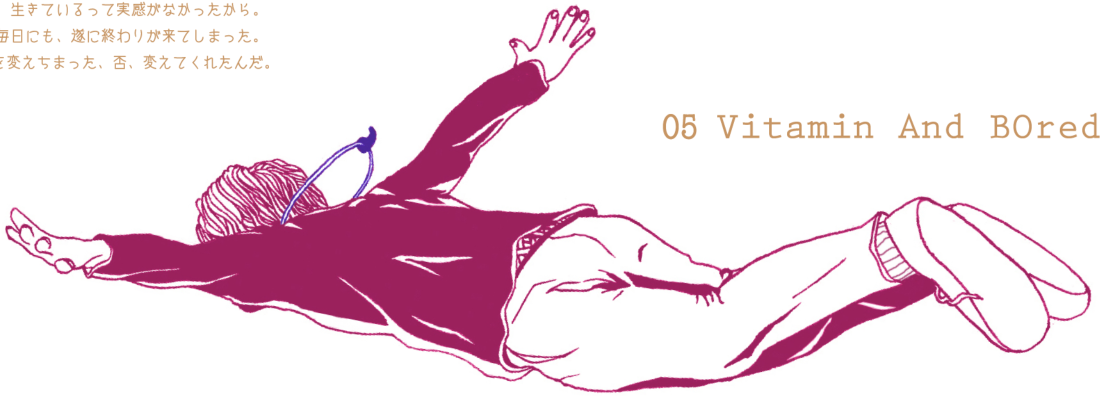
一時帰国の際に"邪魔になった"から楽器屋に売りに行ったら"売りもんにならんから買い取り不可"って云われて（元ルームメイトに）ブチ切れそうになった代物です。

てか此の元ルームメイト色々虚言が過ぎる奴で"俺はジュリアード音楽院にも合格していた"だの"ハーバードにもちょっと行ってた（ちょっとってなんやねん）"だの、まぁ兎に角胡散臭いやつやったんです。で引っ越す時にちょっと意地悪で"折角やしFacebook教えてや。昔の写真とか見たいわ〜。"って云ってみたら"あぁー、前のアカウントがなんか色々あってデータ消えちゃったからまた新しいの作り直すつもりやねん。作ったら友達申請するわ。"とかなんとか云われてはぐらかされたんです。

"あぁこいつどうせ嘘がばれるん嫌やから誤魔化してるんやなぁ。"って思っていたのですがそいつが引っ越してから数週間後、意外にもちゃんと友達申請が来たのです。
"さてバケの皮を剥がしてそれを肴に酒でも呑むかw"とそいつのプロフィールを見たところ"友達数3"の表示に爆笑を通り越して哀しくなったのは最早良い思い出です。

04 二人の馬　鹿の宇宙旅行

今日も俺たちは退屈で、何気ない日常なんてもう嫌になっていて。
繰り返される当たり前を当たり前のように味わえなくなっていて。
ちょっとした刺激が欲しくて、所謂惡いこともたくさんしてきた。
捕まっても全然平気だった、生きているって実感がなかったから。
そんな糞みたいな俺たちの毎日にも、遂に終わりが来てしまった。
" あの男が " 俺たちの全部を変えちまった、否、変えてくれたんだ。



05 Vitamin And BOredom

"Vitamin" は自分では造れない、だから外から取らなくちゃいけないんだぜ？
退屈なのは " 心の Vitamin" が取れていないからなんだ。
そう笑いながら教えてくれたそいつは少し儚げで
満たされているけど同時に俺たちと同じように世界に退屈しているような顔をしていた。

俺たちはそいつのことを " 退屈なビタミン野郎 " と愛と憎しみを込めて
"Vitamin and boredom"、略して "Vabo" と呼んだのさ。

―『私が Vabo に出会って知った人生を変える 108 のこと (ちくま社)』より一部抜粋

はい！出た！このパターン！全部嘘や！誰が " 退屈なビタミン野郎 " や！あと " ちくま社 "
はこんな糞な本を出しません！てか 108 のこととか多すぎるわ！煩悩か！
此の曲 "Vitamin and BOredom" はなんとなく頭文字をとって "VABO" になったら面白いな
って思ってつけただけのタイトルで全く深い意味はありませんｗ
ちなみに此の曲はフツウキライ BGM 初の iPad で作成されたものとなっております。いやぁ
最近のテクノロジーはすごいねぇ。オシャレなカフェテリアでコーヒーをすすりながら
iPad をぽちぽちしたのを覚えています。
曲的には前作の "Jeden tag" を意識して創りました。シンプルさの中にどれだけ
フツウキライさを同居させられるかが腕の見せ所ですね。二の腕くらいまでは出せたかな？

06 ハレとケ (Vocal Version)

騙されるのはフワッと香ってくる
間近で見てた結構人気なアイドル

誰かの肩書きを騙ったのだ
明日には売れると誓ったのだ

信じているのはチラッと視界に見える
鎖に繋がれてるエロい女優

誰かのお下がりを着せられたのだ
昨日から一睡もしていないのだ

表で踊る時代のアイドル
裏で乱れる不世出の女優

二億の眼が釘付けになる
見掛け倒しの大舞台のフェスティバル

誰かに何かを伝えたいのだ
何かは定かではないのだけれど

表で踊る・時代のアイドル
裏で乱れる不世出の女優
明日になれば誰かの介錯
昨日までは無節操に自由
肩書き全て水泡に帰す

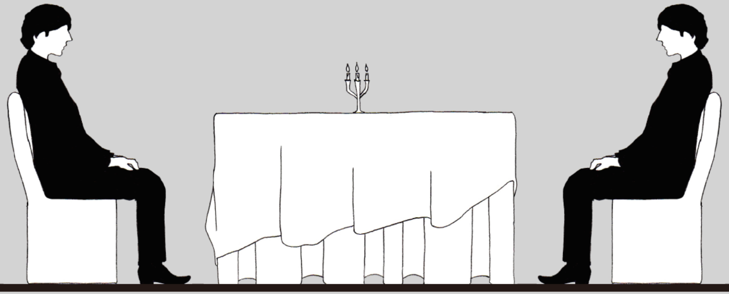
表で踊る時代のアイドルは
裏で乱れる不世出の女優

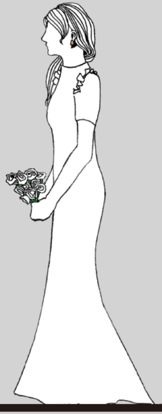
此の曲はルサンチメンとしては初の試み、Vabo 入潮がメインボーカルを務めておりさらに歌詞も今回が初公開です。てかそもそも BGM ががっつり唄ものってなんやねん笑

2015 年の一月に新曲 " モヒートとケシの実 (アルバム未収録)" を発表したわけですが、その時 " 一月度 BGM を新曲の B 面みたいな設定で創ってそれを OST の時に発表したら面白いなぁ " と思って創った曲が何を隠そう此の曲 " ハレとケ " であります！
最近我々は常々 " 矛盾 " と云うことについてごちゃごちゃと考えながら生きているのですが
此の曲もタイトルから想像できるよう、そんなテーマの元に創られた楽曲になっています。あと新年一発目の BGM やったんでちょっとおめでたい感じにもしたかったって云うのもありますね。

ルサンチメンの曲の歌詞は基本的に惡意と茶番に満ち溢れているのですが、此の曲に関しては少し毛色が違います。と云うのも歌詞を書く際に " 歌詞がはっきり聞き取れたらただでさえ何を話しているんかわからへん Podcast の内容が余計にわからんくなるんちゃうか？" と思い敢えて聴き取りにくい歌詞にし、かつバックコーラスのみのバージョンを BGM としては使用していました。
なかなかシニカルかつ色んな意味でわかりにくい歌詞で個人的には気に入っております。

此の曲を通じて云いたいことは一つだけです。
" 誰かに何かを伝えたい " んです。
その " 何かは定かではない " んですけれど。
その " 何か " が " 何 " かはみなさんで勝手に考えて下さい。
その " 何か " を伝えたい " 誰か " が " 誰 " なのかも。





07 羊たちの喧騒

彼女の名前はひつじチン。

死んだ魚のような目をしているけれどフワッフワの毛皮を持ったわりと尻軽な羊。

今日もいつか必ず来る”毛刈り”の日を憂いて”倉橋ヨエコ”を聴きながら
ぬるいチャイラテを飲んでいる、そんな羊。

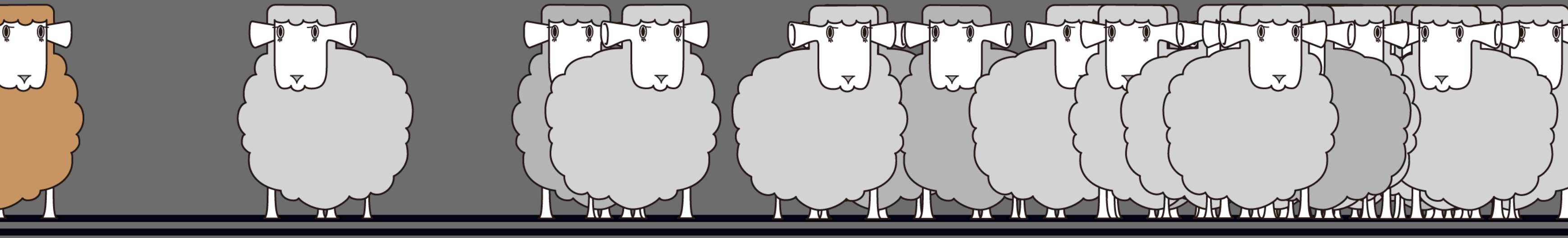
ルサンチメンの二人にも嫌という程に廻されて挙げ句の果て忘れられると云う
哀しい過去を背負った、そんな羊。

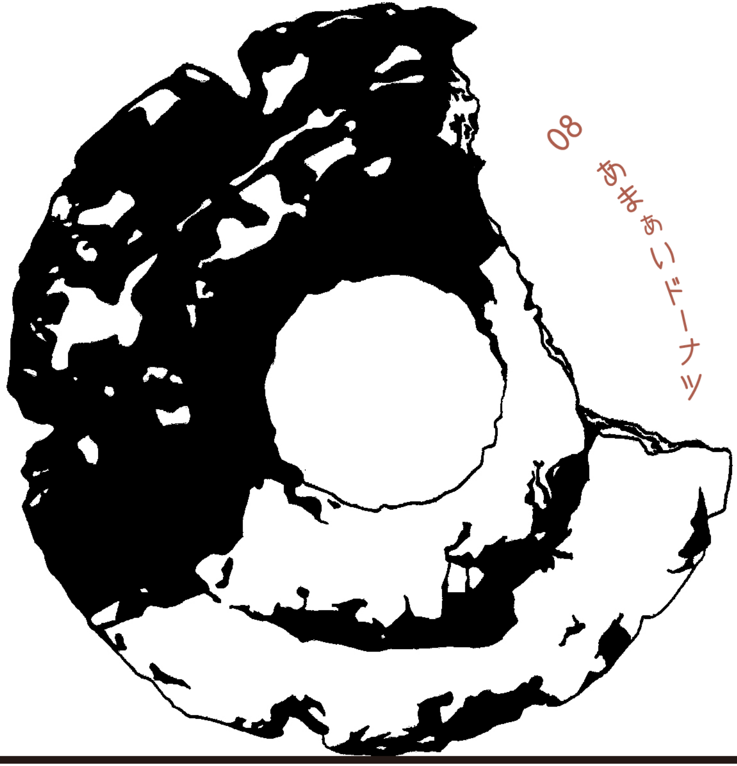
そして、実は此の設定も今回のOSTで”字数稼ぎの為にテキトウに”つけられると云う
衝撃の事実を知っても尚レイプ目のまま立ち竦む、そんな羊、
それがひつじチンでございます。

はい、と云うことで”羊たちの喧騒”です。
タイトルはかの有名な映画”羊たちの沈黙”のパロディ
ですね。なかなか曲とマッチしていてわりと気に入って
いるタイトルの一つです。

此の曲は”まぁ去年もUMAを創ったし今年もそんな感じのマスコットキャラのテーマ曲創るか。”
と思って作曲を始めたのですが、いかんせんうまチンと違いひつじチンに対しては何の思い入れ
も無かったので（て云ってもうまチンに対しても大して思い入れなかったけど）なかなか創るの
に苦労しました。
此の曲は前作収録曲でも多用した”二段構造”の楽曲ですね（詳しくは前作の13曲目”世紀末の
盆踊り”の解説を参照）。今作からは二段構造どころか多段構造の楽曲もちらほら登場して
いますが笑
前半のクラシカルな部分と後半のハイスピードエレクトロな部分のギャップが”精神的に穏やか
でない”っぽいひつじチンの感じを出せたのではないでしょうか？あんまひつじチンのこと
知らんけども。

てかこの調子でいくと来年は”さるチン”のテーマ曲を書かないといけない感じになりそう
なんで、もういっそのこと”干支ちんの唄”みたいなオールスターソングでも書いてやろうかと
思っていたり思っていなかったり。てか”干支ちん”ってなんやねん。ルサンチメンもついに
やるキャラ商法でボロ儲けする気やな？





08 あまぁいドーナツ

A. 2014 年の 6 月に相方と二人で " 第二回西海岸フツウキライ旅行 " をしたのですが、その時のシアトルで何の脈絡もなく
" 今日は一日甘いもの以外禁止！" って云う日を設けたんですね。

別にその日の様子をビデオカメラで撮影するでもなく、その様子を Twitter で実況するでもなく、
ただただなんか面白いんちゃうか？と云う原初的欲求の元に行ったわけなんですが…、それがまぁ
それがキツいの何の。
我々ルサンチメンはお気付きの方も意外と多いかと思いますが、
実は立派にそんなに立派ではないちんぽこを付けた男の子なのです！
そう！" スイーツは別腹☆" などと奇天烈なことをさらっと吐かすメスブタ共とは違うわけですよ！
更に云えば " スイーツ男子 " などと云うしょうもないレッテルを貼られたいが為だけに、別に好き
でもなんでもないスイーツの写真を評論家気取りのコメント共に SNS にあげるような奴らとも違う
わけです！
てかさっきからスイーツ、スイーツって云ってるけどスイーツってなんやねん！甘いもんでええが
な！甘いもんで！味の感想も " 甘くて美味しい " 一択よ！

はぁ、もう怒ったらカロリー使ってスイーツ食べたくなったわ。ドーナツでも食べよ。

Q. この文章に対する正しいツッコミを答えなさい。（35 点）

解答例（1）:『いや、お前もスイーツって云っとるやないか！』
解答例（2）:『ドーナツって云い方もなんか腹立つわ！ドーナッツって云え！』
解答例（3）:『ちんぽこやメスブタなんて汚い言葉遣いの人は嫌いザマス！』

模範解答 :『いや、意味わからんクイズなんか出してへんと曲の解説をせんかい！』

09 東海岸で

ファストフードと大麻の香り。
そしてそれに混ざるように溶け合う人々の怠惰から漂う嫌な匂い。
それが此の街の匂いで、
きっとみんな気づかぬうちに染まっていってしまっているのだ。

誰かが誰かを殺した音と誰かが誰かを犯した音が奏でるハーモニーを聴きながら
今日も街はうざったいくらい煌びやかなネオンで此の街の闇を誤魔化している。
正しさなんてありはしない。正義や悪なんて子供が見るアニメの中だけの話だ。

そう、此処は大都会ニューヨーク。
夢と欲望と金が渦巻く摩天楼に囲まれた地獄と楽園の混ざる場所。
夢を追うものは夢を追わざるものに嘲笑われ、
金のないものは金のあるものに弄ばれる。

そしてそんな混沌とした街で今日も一人
ギターを抱えて日がな一日ブルーズを唄っている男こそが

何を隠そうルサンチメンの馬鹿担当バボなのである。

そしてもちろん此の話もニューヨークに関する描写もほとんど嘘なのである。

はい九曲目、“東海岸で”ですね。
此の曲のタイトルもまんま前作収録曲“西海外から”に引っ張られたものとなっております、
今回此のパターンやたら多いなぁ笑
曲的にはギターを前面に出したもので何となく憂鬱な感じを出せればなぁと思い創りました。
やっぱり西海岸に比べると東海岸ってなんとなく暗いイメージが勝手にあったんで。住んで
みたら別にそんなことはなかったんですけどねｗ

個人的に気に入っているのはBGMとして自然にループできる！と云うところです。が、
いかんせんOSTでは伝わりにくい魅力ですね。ただ次の曲との繋がりもなかなか自然と
できていてそういう“繋ぎ力”ってところがやはり此の楽曲の個人的な一押しポイント
なのではないでしょうか？

10

明暗混ざるお花畑

楽曲のクオリティと云う点だけで云えば今作収録BGMの中では指折だと思う、
”明暗混ざるお花畑”です。

静かなイントロから少しずつ盛り上がりを見せていく感じや単純なメロディの美しさ、そして最後の転調で垣間見れる少し儚げな印象、どこを取ってもルサンチメンのフツウキライには似つかわしくない素敵な曲になっていてなんかオシャレなアニメ映画とかのサントラにありそうな雰囲気ですね。

タイトルは六曲目の”ハレとケ”の解説でも云いましたが”矛盾”と云うことについてこれくらいの時期にアホみたいに考えていてその流れでの”明暗混ざる”。
更に此のBGMを作曲した五月度の相方のアートワークが絵本の挿絵のようななんだか柔らかいけど恐ろしい雰囲気のものでそこから着想を得ての”お花畑”でございます。
クラシックの楽曲の邦題でありそうな感じも漂ってますよね。”若き王女の為の”とかつけとけばもっとぽかったかなぁ。

楽曲的な点で云えばかなり細かく解説できるレベルで考えて作曲しましたしページの余白もたくさんあるのですが解説するのめんどくさいし恥ずかしいんで今回は無しで！
てか今回の解説テキスト基本的に全然音楽的解説してへんがな！どういうこっちゃ！
怒るでしかし！

11　六月四日

なんて安直なタイトル！なぜなら此の楽曲を作曲したのが六月の四日なのです！ｗ
此の時期、僕は日本に帰省していて毎日死ぬほど遊びに明け暮れていたので収録も作業もままならない状態でした。
そんなかなりハードなスケジュールの中での編集。締め切りは目の前。そして少ない睡眠時間。
そんな状態で生み出された楽曲がまさかのキラキラシンセポップ！笑
此の一周回ってクレイジーな感じがフツウキライなのではないのでしょうか？
イメージとしては昔のスーパーのおもちゃ売り場のゲームコーナーでかかってそうな曲ですね。
無駄にテンションの高いメロディで子供の射幸感を煽るドラッグ的なヤバさを潜ませている、そんな感じです。関係ないですけどああ云う昔ながらのゲームコーナーって良いですよね。コインゲームとか好きだったなぁ。

コインゲームと云えば子供の頃にイズミヤで（確か前回のアルバムの解説テキストでもイズミヤ出てきたな笑）母親の買い物を待っている間たまたまゲームの筐体の下でコインを見つけ、暇つぶしがてらにやったスロットゲームがまさかの大当たり！
落ちていた一枚のコインがとんでもない枚数のコインに変わったのですが、お小遣いも貰っていないにも関わらずこんな大量のコインを家に持って帰ったら母親に疑われてコインをネコババしたことがバレ、最終的には警察に捕まる！と云う子供的発想から泣く泣く宝の山を放置して帰ったって云う思い出がありますね。
いやぁ、今思えばただのアホの子ｗ 子供ってすぐに捕まるって勘違いしがちですよね。あれ？俺だけ？
でも僕は声を大にして云いたいです。落ちていた一枚のコインが大当たりするかもしれない。それが人生なのです。さぁ恐れずに挑戦し続けようぜ！そして自販機の下とかねちっこく見ていこうぜ！ビバ！銭ゲバ根性！

「10 明暗混ざるお花畑」で紹介された、
アートワーク Part20。

暮れゆく空を眺めながらその時々の色を紙の上に
落としていくという、
なんともロマンティックな作り方をしました。

今回もサウンドトラックに新規書き下ろし曲を収録しようと相方との打ち合わせで決定していたのですが過去に発表した曲を入れたり前回のようにコントを楽曲に落とし込むと云った方式をとりたくないなぁと何となく思っていました。
やはり紛いなりにも " フツウキライ " を名乗っているのですから自分たちのフツウを超えて新しい面白いことをしないといけないわけですよ。
そんな中、閃いたアイディアが " 前作のアルバムのタイトルで曲を創る " と云うものでした。

ってことで " 碧染めのねおん " に続く此のアルバムの為の新規書き下ろし曲 "Good Luck And Lack Of Luck" です。今までも " 君とずっと一緒 " や " ゴリラと一緒 "、" モヒートとケシの実 "、" 矛盾はいいね！" などでラップはしてきましたがここまで本格的にヒップホップな楽曲は初めてですね。
此の曲のフロウ (いわゆるサビ) はかなりお気に入りで気だるい感じがちゃんとヒップホップできているなぁって思います。あとなんだか意味深な歌詞もありますね、キーワードって一体どういうことでしょう？いつか分かる日が来るのかな？

作詞は結構大変でした。ヒップホップなんで大前提としてちゃんと韻を踏まないといけないわけで。
更に相方が唄うライム (此の云い方ヒップホップっぽくて dope やね！) は相方が唄った時に " っぽい " ものにしないといけないので、その為にアイツの Twitter の過去ログを漁ったりしてました。うわ、我ながら気持ち惡！

個人的に注目して欲しいのはリズムチェンジ後の歌詞ですね。
すぐにお分かりになるとは思いますがこれ前作の曲のタイトルたちなんですよ。
このアプローチは今まで Futsu-hate シリーズで使ってきたものなんですがラップっぽく聴かせる為の配置になかなか苦労しました。

さてヒップホップと云えば "DIS" が付き物ですが此の曲は果たして何に対する "DIS" が込められているのでしょうか？政治？大衆？セルアウト？どれも違います。
それは最初のフロウに入る直前のルサンチメン二人の魂の叫びからお察しください。
そう、ディスられているのはあなたかも知れませんよ？ 7777777。

12 Good Luck and Lack of Luck

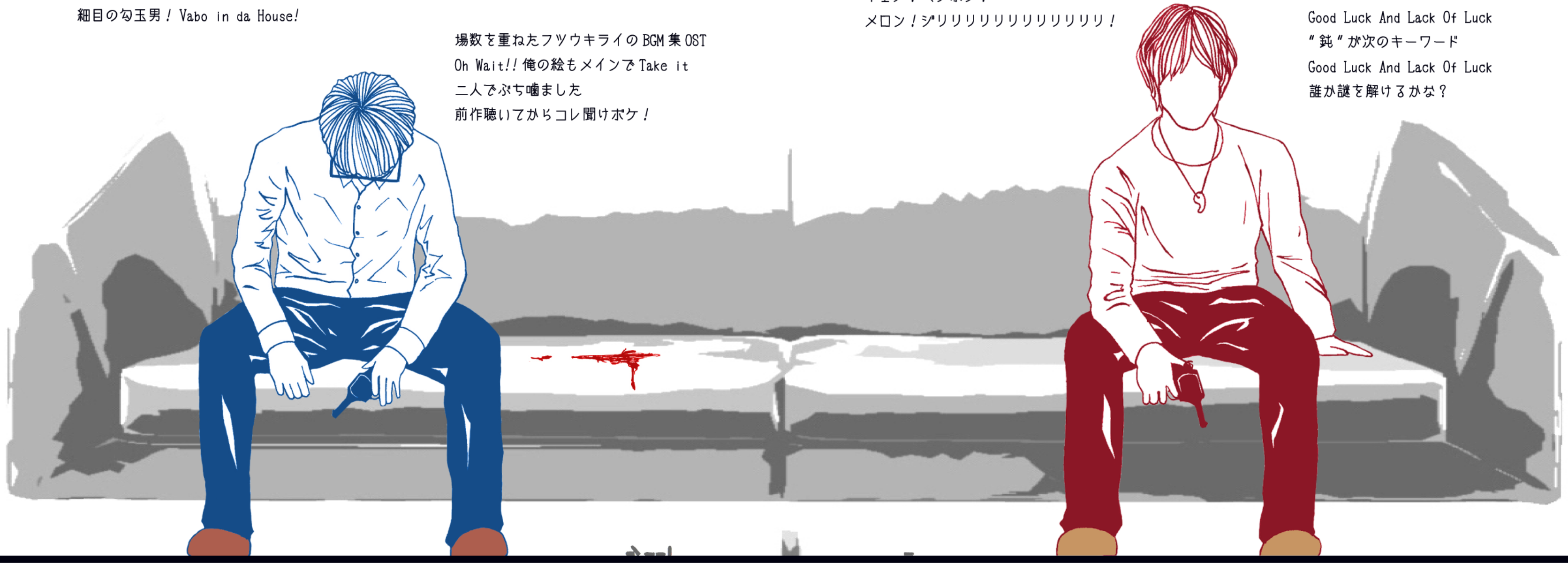
Music by Ressentimen

Hey Yo!
俺は Lack of Luck 担当
ブラックな腹で辛いコメント
”てめぇらも俺らもつまんねぇな”
描いても掻いてもまだ足りないな

吐き出す”キライ”は地雷級でドカン
溜め込んだ不安を楽しめる予感
”待った！”は無しの話の掛け合い
細目の勾玉男！ Vabo in da House!

Hey Yo!
馬鹿げたコントユニットの馬鹿担当
兼
幸運と音楽担当
この調子で飛ばして独壇場？
でも一辺倒じゃつまんねぇじゃん
姉ちゃんがいる弟
ほとんどの音は Made by Me
倍で刻むライムも I`m making

場数を重ねたフツウキライの BGM 集 OST
Oh Wait!! 俺の絵もメインで Take it
二人でぶち噛ました
前作聴いてから コレ聞けボケ！



Good Luck And Lack Of Luck
”運”が一つのキーワード
Good Luck And Lack Of Luck
何時か謎が解けるから

イェア！ペケポン！
メロン！ジリリリリリリリリリリリリ！

始まりの朝 Jeden Tag
Maze 殺菌ガール Besuke 西海岸から
フツウキライのオープニングとエンディングが二つずつ
Over the horizon 没の列 UMA 世紀末の盆踊り
自殺防止委員会 ふろしき
馬鹿な二人の馬鹿な踊り
ナポリタンスポゲリー 君とずっと一緒
Welcome to our Dungeon
Opening of Secret Track

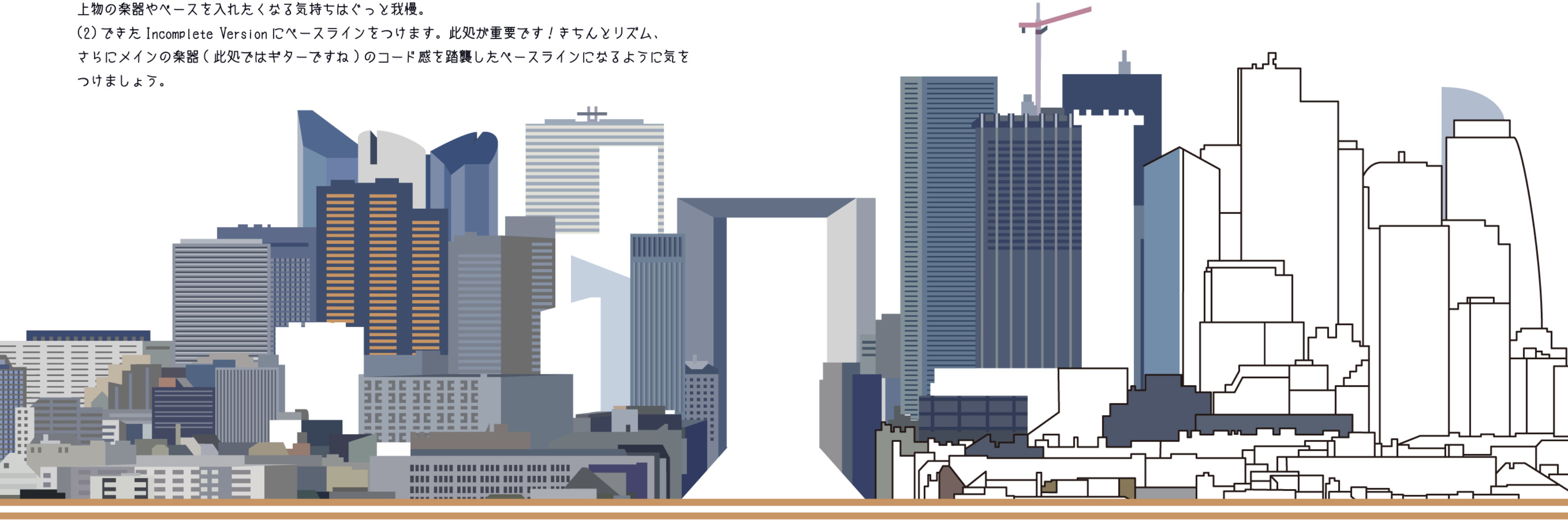
Good Luck And Lack Of Luck
”運”が一つのキーワード
Good Luck And Lack Of Luck
何時か謎が解けるから
Good Luck And Lack Of Luck
”鈍”が次のキーワード
Good Luck And Lack Of Luck
誰か謎を解けるかな？

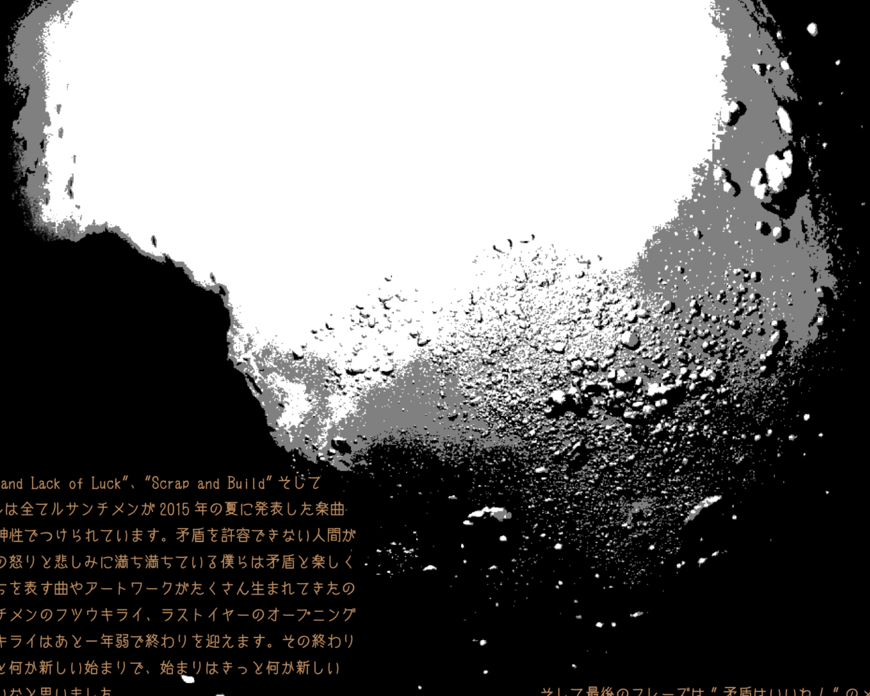
13 Scrap and Build (Complete Version)

前アルバム収録曲はサウンドトラックを出すなんてことは微塵も思わずに創っていたBGMたちだったのでアルバム製作に際しわりと手を加えたのですが、今回はアルバムを出す前提で一年間創ってきたので全体的にそこまで大きな編曲はされていません。
だがしかし！そうなっては面白くない！ってことで此の曲“Scrap and Build”に関しては
“アルバム製作時に完成する”と云うことを前提にして創られた少し不思議な立ち位置の曲なのです。
だから此れだけComplete Versionになっているわけですね。
Incomplete Versionはギターとリズムだけで構成されていたのですが今回此の完全版を創るにあたって今までにしたことのないアプローチをしてみました。下記の手順になるので何か作曲する予定のある人は是非やってみてください！Let`s Scrap and Build!!

(1)兎にも角にもIncomple Versionを創りましょう。メインの楽器一つとリズムだけでオッケーです。
上物の楽器やベースを入れたくなる気持ちはぐっと我慢。
(2)できたIncomplete Versionにベースラインをつけます。此処が重要です！きちんとリズム、さらにメインの楽器（此処ではギターですね）のコード感を踏襲したベースラインになるように気をつけましょう。
(3)次にメインの楽器をミュートしてリズムとベースだけの状態にします。此れがいわゆるScrap!!
(4)さぁ此処からがBuildです！(3)のリズムとベースの上に上物の楽器（此処ではシンセなどですね）を親の仇のように加えていきます。(1)でつけたメインの楽器のフレーズは此の際忘れてしましょう。ゼロから産み出す気持ちを忘れずに。
(5)メインの楽器のミュートを解除して全ての楽器を一斉に鳴らします。するとどうでしょう？思いもよらなかったハーモニーやグルーヴが聴こえてきたのではないでしょうか？

お好みで再びベースラインとリズムだけの状態にしてボーカルラインやラップなどを付け足しても面白いかもしれませんね？それではみなさんも楽しいScrap and Buildを！





14　新しい終わり

“ハレとケ”、“明暗混ざるお花畑”、“Good Lack and Lack of Luck”、“Scrap and Build”そして此の曲“新しい終わり”。これらの楽曲のタイトルは全てルサンチメンが2015年の夏に発表した楽曲“矛盾はいいね！（アルバム未収録）”と同じ精神性でつけられています。矛盾を許容できない人間があまりにも多すぎて腹がたつ。そんな人間たちへの怒りと悲しみに満ち満ちている僕らは矛盾と楽しく愉快に共存していたいのです。だからこんな気持ちを表す曲やアートワークがたくさん生まれてきたのでしょう。そして此の“新しい終わり”はルサンチメンのフツウキライ、ラストイヤーのオープニングBGMとして創られました。ルサンチメンのフツウキライはあと一年弱で終わりを迎えます。その終わりへ向かう道のりが始まったのです。終わりはきっと何か新しい始まりで、始まりはきっと何か新しい終わりで。だから此の曲にもそんな要素を加えたいなと思いました。

2015年の夏に発表したもう一つの曲“Futsu-hate2（アルバム未収録）”、そして前述の“矛盾はいいね！”。此れら二曲は夏の生放送とその後の配信で流したっきりになっていますがその精神性を忘れられたくはなかったのです。そこで普段のフツウキライのBGMにその精神性をぶちこむことに決めました。
そう、此の曲には“Futsu-hate2”と“矛盾はいいね！”の魂とフレーズがふんだんに込められているのです！

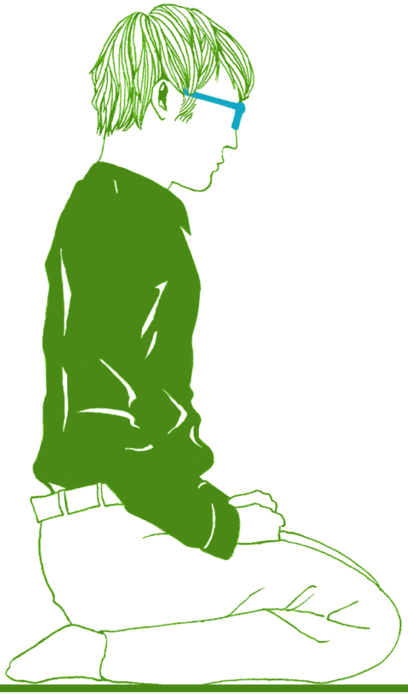
まずイントロは新しい掛け声“ジリリリリリリリリ”に続くように細かいギターのフレーズになっています。頭の中でジリリリリリリって云いながら弾くと弾きやすいとか弾きにくいとか。
そのイントロ後のフレーズは“Futsu-hate2”のサビの変型版です。クラシックの曲でもモチーフを色々変型させて使用しますがそう云ったアプローチですね。楽器が変わるだけでかなり印象が変わって聴こえてきます。

ちなみに“Futsu-hate2”で印象的だった歌詞“恋してる？（フツウキライ第43回タイトル）”も何気に使われています笑

そして最後のフレーズは“矛盾はいいね！”のメインサビの転調版です。江左の歌声がエフェクトとトランスポーズによって男女の中間みたいな声質になってなかなか面白くなっていますね。
こんな感じで色々な精神性をぶち込んだBGMになっていて結構気に入っております。オープニングBGMはオープニングトーク中ずっと流しているので色々な側面がある楽曲の方が色々な会話にマッチすることを過去の放送から学んだのでこう云ったBGMにしてみました。

おお、後半にして一気に解説っぽいぞw

15 Ever Stay Around/Away



1993年4月28日産まれ、牡牛座のA型、
立ち位置は右で黒子がチャームポイントのザリガニ男、
ルサンチメンの脚色、演出、美術、馬鹿担当、
フツウキライでは広報とWebとメインボーカルも担当している。

好きな食べ物は土瓶蒸しとめちゃくちゃおっさん臭いが、実は辛いものが苦手と云う可愛い一面も持ち合わせている。
フツウキライとして目覚めてからは生来の挙動不審さに加え触れるものすべてを切り刻むジャックナイフ的性質が目立ち、近年巷ではFBIやらCSIやら公安やらNASAやらに目をつけられているともっぱらの噂である。
自身はとても素直でわかりやすい性格をしていると公言しているが、周囲からはややこしくて気難しい偏屈のキチガイと思われており、それがさらに彼を腹立たせている。その怒りに任せて毎日狂ったように絵を描き続けているがなかなか世間の評価がついてこないゴッホのような男である。そのうち片耳を切り落としそうだ。
他人が惚れた女にちょっかいを出したくなるめんどくさい性癖を持っており時折それが原因で国家レベルの騒動に巻き込まれることもしばしば。
基本的には奇天烈なフェテシズムしか持ち合わせていない正真正銘のHENTAIである。一例としてはカナダに留学をしていた際に"台湾人のクラスメイトの腋毛を見てめっちゃ興奮した"らしい。しかしその旨を相方に話したところめちゃくちゃ共感を得たとの噂なのでコンビ揃ってヤバイみたいだ。近づかない方が身の為である。変な世界に連れて行かれるぞ。
"Good Luck and Lack of Luck"の歌詞で"姉ちゃんがいる弟"と相方が歌っていたが此の男は"兄ちゃんがいる弟"である。ちなみに件の兄ちゃんは弟と違いとてもまともで面白く社交的らしい。兄弟って不思議ね。ちなみに相方の姉ちゃんは弟と変わらないくらいのクレイジーらしい。姉弟って不思議ね。

此のアルバムのすべてのデザインを担当していて素晴らしいブックレットを作成してくれた。
そんな男をなんとなくイメージして創ったBGMが此の曲である。

お察しの通り頭文字を取るとESA/Aになっている。/Aの意味は本人に直接確認して欲しい。
なぜなら私も知らないからである。

16 フツウキライのエンディング 2015

エンディング曲はオープニング曲よりも短く約八秒程しかありません。前回の解説テキストでも云いましたが此の八秒間にフツウキライを詰め込むのはなかなかしんどく大変な作業なのです。
で、今回はオープニング曲が愉快で可愛らしい感じになったので対照的にクールで大人な魅力満載の感じにしてみました。期せずして"Ever Stay Around/Away"と絶妙な繋がりを見せたのでなんかめちゃかっこよくアルバムの最後を飾れていると思います。

え？最後？
あなた最後って書いた？
どうせまたこっから アホみたいな茶番とか全然隠れていないシークレットトラックとかあるんでしょ？
知ってるわよ。前のアルバムでもやってたじゃない。私にはなんでもお見通しなんだから。

はい、確かにひつじチンの云う通りです、まだ続きます。今回も"あのアホな"フォーマットは変わっていません。
ただ今回は明らかに違うことが一つあります。

それは…(to be continued?)

17　Opening of Secret Track 2

…今回はちゃんと歌詞がついていると云うことです！

っても意味もクソもないルサンチメン、ルサンチメンって連呼しているだけの曲ですけどｗ
てか相変わらず Opening of Secret Track ってなんやねん！
しかも今回はネタバレする気満々で－新ルサンチメンのテーマ－とかサブタイトルまでついてるし。
どうでもいいけど“新○○”って古臭くていいよね。“新パーマン”とか“新天才バカボン”とかなんかそんな感じの笑
フツウキライも百回終わった後にいつかひょっこりと“新フツウキライ”とかって始まり出すかもね？知らんけど。

でも“新”をつけるくらいなら相当なフツウキライになってないとあかんからそんな直ぐには始められへんなぁ。“新フツウキライ”は ANN が JUNK の枠をもらってやるくらいの気概で！それではシークレットトラック始まります！最後までお楽しみください！

新ルサンチメンのテーマ

唄：ルサンチメン

RESSENTIMEN（ルサンチメン！）
RESSENTIMEN

RESSENTIMEN（ルサンチメン！）
RESSENTIMEN

我らの名はルサンチメン
我らの名は（ルサンチメン）
フツウキライだ！ルサンチメン！
我々はルサンチメン

18 フツウキライのオープニング2014(NYR)

此の曲は前作に収録されている”フツウキライのオープニング2014”のRemix Versionと
なっております。新年を彩るRemixと云うことでめでたい感じの曲調にアレンジしようと
思ったら”お正月シーズンにダイエーとかでかかってそうな雰囲気”になっちゃいました笑

て云うか前作の解説テキストで云っていた通り、案の定毎年オープニングとエンディングを
アレンジせなあかん感じになっとるがな！毎年無駄に仕事を増やすな！
アルバムもなんか一年に一枚出す感じになってるし！プロ気取りか！
マジのアーティストでも毎年コンスタントにアルバム出す人って減っていってるねんぞ！
ふざけるな！
多作家か！やりたい放題か！締め切り間近は地獄のように大変やったわ！此のテキスト
書いてる時にはまだまだ作業残っておるわ！
でも楽しいわ！ずっとこんな感じで苦しく楽しく生きたいわ！
バラ色の人生なんて糞食らえや！面白くないわ！

え？そう云えばなんで今回のタイトルが”人生は鈍色”かって？
それはね…(つづく)

アートワークPart25。
テーマは「Around/Away」。
お察しの通り「15 ESA/A」と同じ時期に描いたものです。

握手していると見せかけてよくみるとなんだか可怪しい。
少し不安な気持ちになるのもご愛嬌です。

でたぁぁぁぁぁぁぁぁ！！！！
みんな大好き“君とずっと一緒”が再びシークレットトラックとして登場だぁぁ！！
ただ今回は大幅なアレンジと新解釈を加えての

“君と一生一緒”として生まれ変わったのダァァァァ！！

ってことで今回のシークレット(?)トラック“君と一生一緒”です。前回同様トラックリストに普通に乗っているので隠す気ゼロですねｗ シークレットトラックが聴いて呆れるわ！
前回の解説テキストで“君とずっと一緒”をいつかアレンジしたいみたいなことを云ってたんですがさらっと一年後にしちゃいました笑
しかもパンクなアレンジにしたいとか云っていたくせに思いっきり“キラキラテクノポップ”って云うね。真逆やないか！！

さて楽曲の解説をいたしますと、此の曲は“君とずっと一緒”の主人公に対するアンサーソングって云う名目で創られたのです。云うなれば“セルフアンサーソング”ですよ。自分で問いを創って自分で答えていく“自給自足＆自作自演＆自暴自棄”スタイルです。だって誰も反応してくれないんだもの。寂しい。辛い。誰かに膝枕されたい。

一緒と一生を延々と聴かされるなかなかなか電波ソングっぷりですがサビ以外の歌詞もそれに負けないくらい酷いですね。(もちろん良い意味で)
“君とずっと一緒”の歌詞をちゃんと和訳してから聴けば二倍で楽しめるのではないのでしょうか？此のカップルメンヘラ同士でやばいね！
てかラップの歌詞が酷いのなんの。自分で書いて自分で歌っておいてなんですがアホみたいな歌詞。でもうまいこと韻を踏めてるし口が気持ち良いんで気に入っています。
なかでもお気に入りのパートは“〜もちろんするのはダーリン♡ 歯に衣着せぬ〜”のところです。音だけで聴くと“ダーリン、ハニー”って甘ったるい感じに聴こえるあたりが憎いね！
こう云うの気づいて欲しくてガンガン云っていくスタイルでいきますよ？
此処のラップは結構速くて最初はなかなか口が回らないかも知れませんがマスターして歌うとかなり気持ち良いのでいっぱい練習して是非是非カラオケで歌って女子にひかれてください！

(注)カラオケの機種によっては収録されていない場合もございます。ご了承ください。

19 君と一生一緒

唄：ルサンチメン

君とずっと一生一緒
一生一緒 一生一緒
君とずっと一生一緒
一生だからね！？

意味なんていらなくて
勘違いさせたくない！
だからこのまま
わたしに独り占めされて？

止まらない
その行為
お手伝いしたいくらい好き
わたし以外では
Please don`t jerking off "my" dick!

君とずっと一生一緒
一生一緒 一生一緒
君とずっと一生一緒
一生一緒 いいでしょう！？

君とずっと一生一緒
一生一緒 一生一緒
君とずっと一生一緒
一生だからね！？

Hey everyone it`s time to
Listen up a marvelous Rap again!

甚だしいリビドーをどう満たす？
股からダラダラ汁垂れ流しっぱなしで
真っ裸でマッハでマッサージ
もちろんするのはダーリン♡
歯に衣着せぬ物云いも好き
モスキートばりに吸血したいわ

休憩無しでギュッとしといて
わたしだけを見つめて
耳から脳を覗き込んでぐちゃぐちゃにしたい

屍体になっても愛してあげるから
独りにしないで
独りで死なないで

君とずっと一生一緒
一生一緒 一生一緒
君とずっと一生一緒
一生だ・か・ら・ね・ね・ね・ね♡

君とずっと一生一緒
一生一緒 一生一緒
君とずっと一生一緒
一生一緒 いいでしょう！？

君とずっと一生一緒
一生一緒 一生一緒
君とずっと一生一緒
一生だからね！？

20　ルサンチメンのエンディング2014(NYR)

此の曲も十八曲目と同様、前作に収録されている"フツウキライのエンディング2014"のRemixです。
はい、解説終わり。

てことで此の場を借りてあとがきではないですが此のアルバム"人生は鈍色"についての個人的な見解と説明をさせていただきます。つまり十八曲目の解説テキストの"つづき"です。

今までも散々書いてきましたが我々は最近"矛盾"と云うことをひたすらに考えています。云い方を変えると"矛盾"と友達になろうとしています。てかぶっちゃけるともうマブダチレベルです。二人っきりで呑みにいける仲です。
さて矛盾とはどういうことでしょうか？辞書的に云えばつじつまが合わないことです。
でも云い換えると"矛盾"とは正しいのか間違っているのかわからないと云うこととも云えます。

正義の色は白。悪の色は黒。無罪の人は白。有罪の人は黒。白黒つける。
そう云った表現等からも分かる通り白と黒と云う色は背反し合うものです。

鈍色。つまり灰色。白と黒の間。それはまさしく"矛盾"なのではないでしょうか？

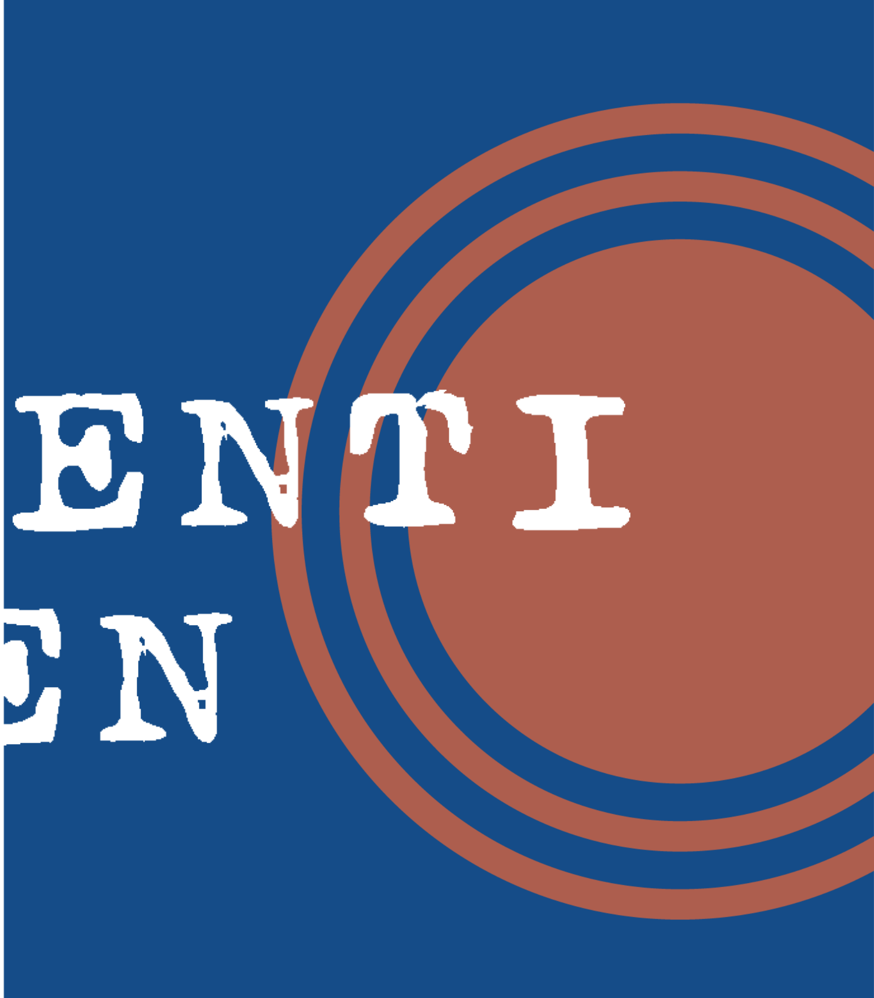
"人生は鈍色"
此れは別に自分たちの人生を悲観しているわけでもなんでもありません。
バラ色の人生なんてつまらないのです。何故なら何が起こってもバラ色に、つまり幸せや希望に満ち溢れていると思える人生はきっと勘違いで独りよがりです。そんな生き方吐き気がします。
喜びも楽しみも悲しみも怒りも愛おしさも憎しみも苦痛も快楽も何もかもを全部ひっくるめてで人生なのです。
そこに明白な基準なんてありません。何処までが幸せで何処からが不幸せかなんて全部自分次第なのです。

"人生は鈍色"
そう僕達の人生はそんな感じなのです。そんな感じがいいのです。白でも黒でもない、鈍色。自分次第で白にも黒にも見える。そんな人生。そんな方が楽しいのです。何が起こるかわからないからずっとワクワクできるのです。

此の作品を通じて我々が云いたかったことはそんなことです。別に難しいことや偉そうなことを云いたいわけではありません。此れは世の中と自分たちに向けての宣誓なのです。
いつかきっと分かる日が来ます。その時に腹の底からニヤリとしたいのです。

それではみなさんまた来年の秋頃に三部作の完結編"ルサンチメンのフツウキライOST Vol.3(仮)"で会いましょう。普段の放送も此の機会にお聴きくださいね。終わってから後悔しても知りませんよ？

お相手はルサンチメンの音楽と馬鹿と幸運担当パボ入潮でした。
最後は江左さんによる本当のあとがきをお楽しみください。
では。



どうもこんにちは。この度は「ルサンチメンのフツウキライ」OST Vol.2“人生は鈍色”をご購入
いただき有難うございます。
ルサンチメンの美術と馬鹿と不運担当の江左です。イェイ。

今作も50ページ程度のボリュームになった&サイズをBDサイズにしたことで文章量はおそらく前作以上のこのデジタルブックレットをここまで読んで頂いた方。ありがとう、なんて云いませんぞ。無料でも読めるものにこれだけ力を入れたのです。読んであたりまえ。読んでしかるべきなのです。
まぁとはいえ読むだけでも労力がかかったことでしょう。お疲れ様でした。有難うございます。

まずブックレットの解説を少しさせていただくことにしましょう。

今作は直接それを連想させるような表現を抑えて、観た人に「和」を感じ取らせることを目標に作りました。「日本的」という意味での「和」です。ですのでほぼ必然的に色合いでの表現に重点が置かれるわけですね。
そこでカラーサンプルをいろんな自然から取ってこようと思いました。しかし、普段なら、紅葉とか常緑樹とか海とか空とか、色んな所に色を求めて写真を撮りに行くのですが、今回は時間がありませんでした（実質製作期間は3週間ぐらい）。それで諦めたか？いやいやわしは諦めへんで。一度自然から取ると決めたら意地でも取る。考えに考えたら絶対ええの思いつくんや。
どうしようかと考えていたその矢先、最高のサンプルが見つかったんです。それは何か？

聴いて驚け。それは「病理診断画像」でした。

疾病にかかった人体の組織を標本にした画像ですね。それがまぁ綺麗。美しいの一言。最高峰のサンプルでした。しかも知識として吸収することも出来る。あぁ医学生で良かったー！

まぁそんなこともあり、上手く金や銅などの“鈍い”輝きを放つものの色を表せたのではないかと思います。みなさんにおかれましてはどのような印象を抱かれましたでしょうか？
前作にも書きましたが、僕の制作意図は、云いますがそれはそれとして、観た人みなさんが僕の作品を観ていろいろ感じたこと、それは確かなその人自身のアイデンティティなので、自由に想っていただけたらと思います。

さて、今作OST Vol.2“人生は鈍色”ということで、今回のブックレットを作成するにあたって“人生は鈍色”というタイトルに対して意味を見出していこうとするのがまぁ外せないプロセスのひとつで、いろいろ想うわけです。

人生の中で、求める“もの”に手が届けばその人生は輝くのでしょう。でも届かないこともしばしばある。では届かなかった、それを求めたこと自体は無意味であったのでしょうか？
私はそんなことはねぇと思うんですね。だって、届いたところで、その良し悪しは、それが本当に輝くかどうかは不明なんですよ。

要は、ベタな結論なんですが、結果という強い輝きももちろん大事ですが、考えぬいて何かを目指す、自らの妥協に対して強い怒りを抱く、前作にも書いた“初志貫徹”、これらを継続する“過程”も、鈍いがたしかにそこにある、そう、輝きを放つのです。

その鈍い輝きを美しいと思うか、惨めだと思うか、それは観測者であるその人自身の判断です。
先ほど述べたように、何かに触れたり観たりすることで湧く感情は個々をIdentifyするものなので、どんな感じ方をしたって良いんですよ。悪いなんてことはない。

だって我々フツウキライは結局、
なんでもかんでも次へのエネルギーに変換してしまえるんですから。
そうやって自分たちの“人生”を“鈍色”に染めていくのですから。

という訳で、私なりの“人生は鈍色”の意味づけを語ってみました。
分かる人には分かるかもしれない。分からない人は全く分からない。
そんな感じの文句だったと思います笑

えーそれでは、少々長くなりましたがこの辺でお開きに。

どうも、ここまで観ていただき、ありがとうございました！

Oct/31st/2015